

社会資本総合整備計画（市街地整備事業－暮らし・にぎわい再生事業－空きビル再生支援）

事後評価書

平成30年2月28日

計画の名称	賑わいのある、安全安心な中心市街地のまちづくり（防災・安全）																																					
計画の期間	平成27年度～平成28年度			交付団体	玉野市																																	
計画の目標	玉野市の中心市街地は、商店街の空洞化等により人の流れが変化し、定住人口の減少と高齢化が進んでいる。また、本市随一の大型商業施設においても、地域の環境変化等により、商機能の低下が著しい状況にあることから、中心市街地の再生が急務となっている。一方、中心市街地は瀬戸内海に面しており、これまでに台風による甚大な高潮被害を受けた経緯がある。また、全国的に大規模地震の発生が懸念される中、本市は大規模地震対策特別措置法に基づく南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、中心市街地における地震災害のリスクも高まっていることから、賑わいを生み出すことに加え、安全安心なまちづくりを目指すものである。																																					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における指定避難所の想定収容人数を193人（H26年度）から382人に拡大させることで、人口カバー率を11.8%（H26年度）から市全体の水準23.6%（H26年度）と同等程度に引き上げ、地域住民の避難を喚起する。 中心市街地の住民が新耐震基準を満たした指定避難所へ避難する際の最長到達時間を12分から7分に短縮する。 歩行者・自転車通行量を1,296人（H26年度）から1,360人に増加させ、賑わいを生み出す。 暮らし・にぎわい再生事業実施地区に立地する商業施設の空きテナント面積率を30.9%（H26年度）から10.0%に減少させ、賑わいを生み出す。 																																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">アウトカム指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地における指定避難所想定収容人数の人口カバー率（市域全体の率（23.6%）程度まで改善させる。）</td> <td>11.8%</td> <td></td> <td>23.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民の新耐震基準を満たした指定避難所への最長到達時間</td> <td>12分</td> <td></td> <td>7分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩行者・自転車通行量（休日）</td> <td>1,296人</td> <td></td> <td>1,360人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）の空きテナント面積率</td> <td>30.9%</td> <td></td> <td>10.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								アウトカム指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	H26		H28	中心市街地における指定避難所想定収容人数の人口カバー率（市域全体の率（23.6%）程度まで改善させる。）	11.8%		23.3%		地域住民の新耐震基準を満たした指定避難所への最長到達時間	12分		7分		歩行者・自転車通行量（休日）	1,296人		1,360人		商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）の空きテナント面積率	30.9%		10.0%	
	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考																																		
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																			
	H26		H28																																			
中心市街地における指定避難所想定収容人数の人口カバー率（市域全体の率（23.6%）程度まで改善させる。）	11.8%		23.3%																																			
地域住民の新耐震基準を満たした指定避難所への最長到達時間	12分		7分																																			
歩行者・自転車通行量（休日）	1,296人		1,360人																																			
商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）の空きテナント面積率	30.9%		10.0%																																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	453 百万円	A	453 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																												

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として玉野市で実施	平成29年度
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
A-1	暮らしにぎ	一般	玉野市	直接	玉野市	玉野市宇野地区暮らし・にぎわい再生事業	空きビル再生 1.5ha	玉野市						453	
合計													453		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H	H	H	H	H		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況															
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> ・新中央公民館を避難所に指定することで、中心市街地における収容人数の人口カバー率を改善することが出来た。 ・新中央公民館を避難所に指定することで、地域住民が新耐震基準を満たした避難所へ到達する最長時間の短縮が図れた。 ・中心市街地活性化基本計画区域内に新たな施設（図書館・中央公民館）が整備され、歩行者・自転車通行量も増加している。 ・天満屋ハピータウン・メルカの空きテナントがゼロになり、出店者、消費者にとって魅力的な施設となっている。 											
II 定量的指標の達成状況				指標① 中心市街地における指定避難所想定収容人数の人口カバー率（市域全体の率（23.6%）程度まで改善させる。）	最終目標値	23.3%	目標値と実績値 に差が出た要因	整備した新中央公民館の中で、避難スペースと使える面積が増えたため。							
				最終実績値	24.6%										
				指標② 地域住民の新耐震基準を満たした指定避難所への最長到達時間	最終目標値	7分	目標値と実績値 に差が出た要因								
				最終実績値	7分										
				指標③ 歩行者・自転車通行量（休日）	最終目標値	1,360人	目標値と実績値 に差が出た要因	平成29年4月に玉野市立図書館・中央公民館がリニューアルオープンし、中心市街地の回遊性向上に大きく寄与したと思われる。							
				最終実績値	1,425人										
				指標④ 商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）の空きテナント面積率	最終目標値	10%	目標値と実績値 に差が出た要因	商業施設と公共施設の複合施設としてリニューアルされ、施設全体の魅力向上につながり、また、市内初出店となる新規テナントが入店するなど、今後の集客増加が期待されている結果と思われる。							
				最終実績値	0%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															
3. 特記事項（今後の方針等）															
<ul style="list-style-type: none"> ・本市が推進している生涯活躍のまち「たまの版CCRsea構想」と連携し、さらなる中心市街地の魅力づくり、賑わいのあるまちづくりを目指す。 ・指標③（歩行者・自転車通行量）については、引き続き効果を検証していく。 															

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	#REF!	#REF!	#REF!
計画の期間	#REF!	交付団体	#REF!

